

八光熱風発生機

100V 熱風発生機 HAP1012

取扱説明書

お買いあげいただき、ありがとうございます
お使いになる前に、この「取扱説明書」をお読みく
ださい。お読みになった後は、後日お役に立つ事
もありますので、製品のそばに必ず保管してくだ
さい。

商品が届きましたら、次の事項を確認
してください。

- ・ご注文の商品と違いがないか、銘
板を確認してください。
- ・輸送中の事故などで、破損、変形
していないか確認してください。
- ・ボルトやナットなどに緩みがないか
確認してください。



 株式会社八光電機製作所

本機を安全にご使用いただくために

本機には、安全に使用していただくために次のようなシンボルマークを使用しています。



指示に従わなかった場合に、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



指示に従わなかった場合に、死亡または重傷を負う恐れがあるものを示します。



指示に従わなかった場合に、負傷または物的損害を生じる恐れがあるものを示します。

危険

●爆発性ガス、可燃性ガスの加熱、およびこれらガス 雰囲気中では使用しない。

本装置は防爆の仕様ではありません。爆発性ガス、可燃性ガスの加熱、およびこれらガス雰囲気中では絶対に使用しないでください。火災・爆発事故の原因になります。



警告

●絶対に分解・改造をしない

火災、感電、故障の原因になります。



●高温部には素手で触らない

運転中の吐出口周辺は、高温になります。絶対に素手で触らないでください。火傷の原因になります。



●運転中はカバーをはずさない

本体側面のカバーをはずした状態で、運転や操作を行わないでください。火災、感電、火傷の原因になります。



●吸入口・吐出口をふさがない

運転中、吸入口および吐出口を密閉しないでください。火災・故障の原因になります。



●本体およびコントロールパネル に水をかけない

ショートや感電・故障の原因になります。



●コントロールパネルは濡れた手で操作しない

濡れた手で操作すると、感電の原因になります。



必ずお守りください

警告

●粉塵、糸くず等の多発環境では使用しない

糸くず等が熱風発生機内で加熱され吐出口より炎の状態で飛び出し、火災の原因になります。



●粉体移送ラインに熱風を送り込む使用では、吐出口に必ず逆止弁を設ける

粉末が吐出口より逆流した場合、火災、爆発の原因になります。



●ヒーター端子部には触れない

運転中、ヒーター端子部および電源部分には触れないでください。感電・火傷の原因になります。



●吸入口・吐出口に手や物を入れない

火傷・ケガ・故障の原因になります。



注意

●吐出口付近に燃えやすいものを置かない

火災の原因になります。



●湿気の多い空気は加熱しない

感電・故障の原因になります。



●屋外で使用しない

本機は屋内専用です。風雨の当たる屋外では使用しないでください。感電・故障の原因になります。



●吸入口付近に燃えやすいものを置かない

万一吸い込まれると、火災、故障の原因になります。



●電源コードを丸めたまま使用しない

火災・故障の原因になります。



●本体の上に乗ったり、重い物を載せたりしない

感電・故障の原因になります。



●正しい電源電圧を利用する

本製品は100V専用です。それ以外の電源を使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

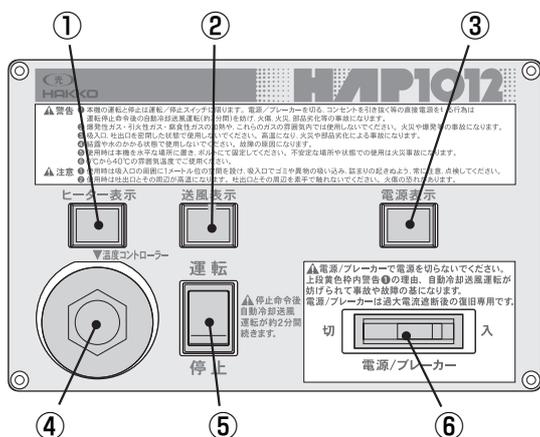


●傾斜地では使用しない

傾斜地では思わぬ転倒により、火災・故障の原因になります。



コントロールパネル



- ① ヒーター表示ランプ
- ② 送風表示ランプ
- ③ 電源表示ランプ
- ④ 温度調整ダイヤル
- ⑤ 運転スイッチ
- ⑥ 電源ブレーカー

3. 据 付

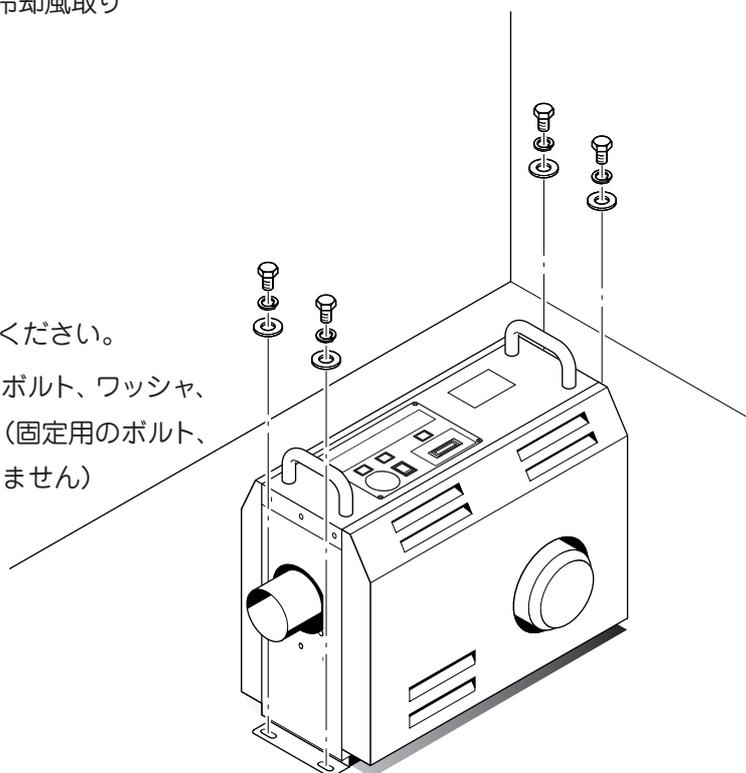
《設置場所》

●本装置は屋内仕様です。設置場所の環境は下記の条件を守ってください。

- ① 周囲温度：0～40℃
- ② 相対湿度：R.H.80%以下
- ③ 爆発性ガスおよび腐食性ガスにさらされないこと。
- ④ 雨や風が当たらない屋内であること。
- ⑤ 塵埃が少ないこと。
- ⑥ 密閉されないこと、また送風機モーターの冷却風取り
入れ口は、壁と50mm以上離すこと。
- ⑦ 平坦で堅く、凹凸のないこと。

《設 置》

- (1) 水平に設置してください。
- (2) 保守および点検を行うスペースを確保してください。
- (3) 装置前後の固定用穴(4箇所)を使って、M6ボルト、ワッシャ、スプリングワッシャにて固定してください。(固定用のボルト、ワッシャ、スプリングワッシャは付属していません)

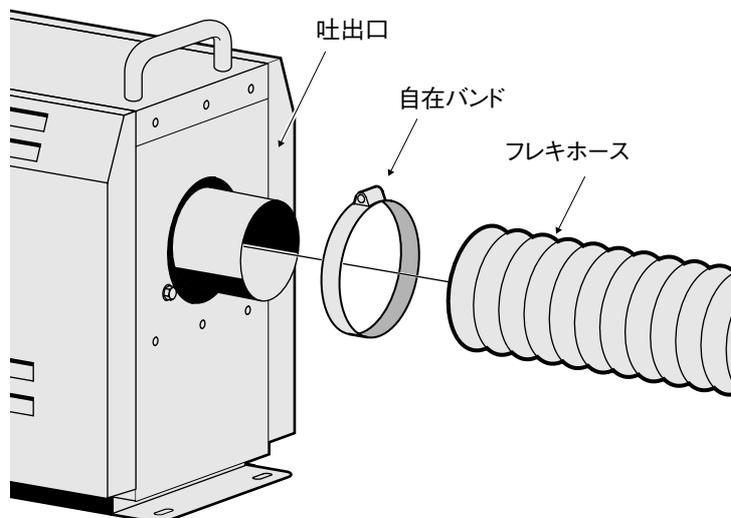


《配管接続》

- (1) 吐出口にフレキホースを接続する場合は、ホースを挿入し「自在バンド」で確実に締め付けてください。

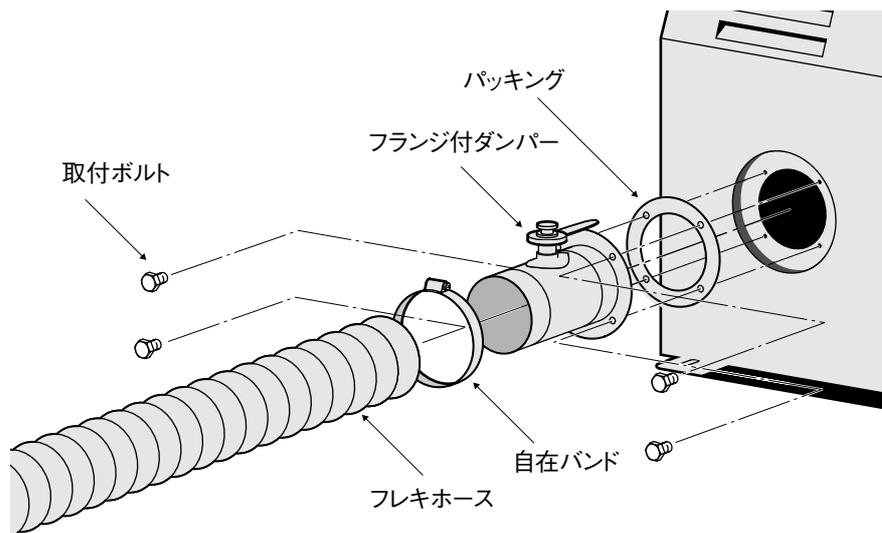
⚠ 注意

ご使用になる熱風温度に対応した、適切な材質のフレキホースをご使用ください。火災の原因になります。



- (2) 循環方式で使用する場合は、付属の風量調節板を取りはずした後、「フレキホース」を挿入し「自在バンド」で確実に締め付けてください。循環方式で風量調節を行う場合は、付属の吸入口管を取りはずし、オプションのフランジ付ダンパーをご利用ください。

(適合ダンパー：PPD0075、またはPSD0075)

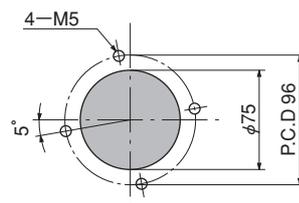


* 接続するホースの内径は仕様欄の吸入口および吐出口径を参照してください。

* ホース固定金具またはフランジ付ダンパーは、取付けボルト4本で固定してください。(自在バンド、フレキホースはオプションで取りそろえております)

吸入口寸法

(吸入口管を取りはずした状態)



4. 運転の仕方

- (1) 操作パネルの電源ブレーカーを「入」にしてください。電源表示ランプ（オレンジ色）が点灯します。
- (2) 操作パネルの運転スイッチを「運転」にしてください。
- (3) 温度調整ダイヤルを右回り（時計の回転方向）に回してください。設定温度が送風温度より高くなると、ヒーター表示ランプ（赤色）、送風表示ランプ（緑色）が点灯し、吐出口から温風が出てきます。
- (4) 温度調整ダイヤルを回して希望の温度（33～120℃）に設定してください。
- (5) 必要に応じて本体側面の吸入口風量調節板を開閉して、温風の風量と温度を調節してください。風量調節板を閉めていくと風量が少なくなり、温度が上がります。
- (6) 設定温度まで昇温すると温度調節運転され、ヒーター表示が点灯したり消灯したりします。
- (7) 停止する際は、運転スイッチを「停止」にしてください。ヒーターへの通電が遮断され、約2分間送風運転を行います。送風運転が停止しましたら、電源ブレーカーを「切」にしてください。

注) 停止する際は必ず運転スイッチにより停止し、約2分間の送風運転（冷却運転）を行ってください。また、熱風運転中に電源ブレーカーを「切」にして停止しないでください。電源ブレーカーにて停止されると、約2分間の送風運転が行われなくなり、故障の原因となる恐れがあります。

5. 異常の原因と処置

異常が発生した場合は装置を停止し、必ず電源を遮断してください。装置が冷えてから原因を取り除き、再起動してください。処置を行っても修復しない場合は、当社の「熱風発生機電話相談窓口」または、お近くの(株)八光 支店・営業所・販売会社までご連絡ください。

異常	原因	処置
運転スイッチを入れても動かない	電源が入っていない	・電源コードのプラグがコンセントに差し込まれているか、電源ブレーカーが「入」になっているか確認してください ・コンセントに100Vが給電されているか確認してください
	送風機異常によりサーモスタットが動作した	・送風機の吸入口および羽根を点検してください
	温度ヒューズの溶断	・温度ヒューズの交換が必要です*1
風が出ない	温度コントローラーの設定値が低すぎる	・設定値を上げてください
	サーモスタットまたはファンの故障	・サーモスタットまたはファンの修理、交換
風の温度が上がらない	温度コントローラーの設定値が低すぎる	・設定値を上げてください
	ヒーターまたはサーモスタットの故障	・ヒーターまたはサーモスタットの修理、交換*1
	温度ヒューズの溶断	・温度ヒューズの交換が必用です*1
温風が熱すぎる	ダンパが閉まっている	・ダンパを開けてください
	サーモスタットの故障	・サーモスタットの修理、交換

*1：「熱風発生機電話相談窓口」または、お近くの(株)八光 支店・営業所・販売会社までご連絡ください。

6. お手入れについて

- (1) 本体の汚れは、アルコールを浸した柔らかい布などで拭き取ってください。シンナーを使ったり、水洗いはしないでください。
- (2) 吸入口は点検してゴミ等を除去してください。



熱風発生機 電話相談窓口

熱風発生機についての技術相談を下記電話相談窓口にて承っております。

ご不明な点やお気づきの点、機種選定のご相談などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

東日本：株式会社 八光 電熱器販売部門 東京支店 TEL. 03-3464-8764

西日本：株式会社 八光 電熱器販売部門 大阪支店 TEL. 06-6453-9101

(受付時間：月曜日～金曜日 午前9:00～午後6:00)

熱風発生機 メンテナンス・サービス

熱風発生機のメンテナンスを承っております。

保守・点検・修理などのご要望がございましたら、熱風発生機電話相談窓口、またはお近くの(株)八光支店・営業所・販売会社までお問い合わせください。

株式会社 八光 支店・営業所・販売会社一覧

○株式会社 八光 電熱器販売部門

本部・東京支店	〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-7-9	TEL.03(3464)8500 FAX.03(3464)8539
仙台支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-5-17 伊藤ビル1階	TEL.022(257)8501 FAX.022(257)8503
宇都宮支店	〒320-0065 宇都宮市駒生町1359-42	TEL.028(652)8500 FAX.028(652)5155
大宮支店	〒331-0804 さいたま市北区土呂町 2-10-15 深澤ビル1階	TEL.048(667)8500 FAX.048(667)0008
大阪支店	〒553-0003 大阪市福島区福島 8-16-20 MSビル	TEL.06(6453)9101 FAX.06(6453)5650
福岡支店	〒812-0014 福岡市博多区比恵町 2-24 ロックシャローズ博多	TEL.092(411)4044 FAX.092(411)4046
札幌営業所	〒060-0004 札幌市中央区北四条西15-1-35 山京ガーデンハイツ西15 1階	TEL.011(611)8580 FAX.011(611)8541
京都営業所	〒601-8328 京都市南区吉祥院九条町39-6 創栄 吉祥院ビル1階	TEL.075(682)8501 FAX.075(682)8504

○岡山八光商事株式会社

本社	〒700-0926 岡山市北区西古松西町5-6 岡山新都市ビル404	TEL.086(243)3985 FAX.086(243)8514
松山営業所	〒790-0003 松山市三番町7-13-13 ミツネビル	TEL.089(935)8517 FAX.089(935)8507

○長野八光商事株式会社

本社	〒389-0804 長野県千曲市大字戸倉 1693	TEL.026(276)3083 FAX.026(276)5163
金沢営業所	〒920-0842 金沢市元町 1-16-19 ルミエール第二ビル	TEL.076(253)8500 FAX.076(253)8685

○名古屋八光商事株式会社

本社	〒462-0847 名古屋市北区金城 3-4-2	TEL.052(914)8500 FAX.052(914)8570
静岡営業所	〒422-8064 静岡市駿河区新川 2-1-40	TEL.054(282)4185 FAX.054(282)1500

○八光電熱器件(上海)有限公司

上海市松江区俞塘路512号 TEL.(86)21-5774-3121 FAX.(86)21-5774-1700

○HAKKO (THAILAND) CO.,LTD

9/41 Moo 5, Paholyotin Road, Klong 1,Klong Luang, Patumthani 12120, Thailand TEL.(66)2-902-2512 FAX.(66)2-516-2155

○株式会社八光電機製作所 (製造・輸入元)

本社 〒389-0807 長野県千曲市大字戸倉温泉 3055
工場 〒389-0806 長野県千曲市大字磯部 1486

ホームページアドレス <http://www.hakko.co.jp/>